

「ネットワークが創発する知能」論文特集号の 発刊にあたって

栗原 聡^{1,a)} 菅原 俊治^{2,b)}

第 11 回となりますネットワークが創発する知能研究会は、2015 年 8 月 19 日（水）から 21 日（金）に日本大学理工学部駿河台キャンパスにて開催されました。メインキーワードを「ネットワークダイナミクス」と「ネットワークが創発する知能」として、日本ソフトウェア科学会 ネットワークが創発する知能研究会との共催にて行いました。

インターネットを始めとする複雑ネットワークは、複雑な構造の中に興味深い数々の特徴を内包し、活発に研究が行われている分野です。さらに、同様の興味は、物理学、化学、生物学、経済学、社会学など様々な分野で保たれており、本論文誌においても多くの投稿がこれまでなされてきました。トピックとしては、スケールフリーネットワーク、スモールワールド、集合知、集合学習、ネットワーク系マルチエージェント、自己組織化および創発モデル、Swarm Intelligence、Web ダイナミクス、Web 構造マイニング、知識ネットワーク、ネットワーク認知、ソーシャルキャピタル、ソーシャルネットワーク、ネットワーク外部性、空間経済、ネットワーク上でのゲーム、複雑系、計算社会科学などがあげられます。本シンポジウムでは、様々な分野の研究者の交流の場を提供し、当分野の世界における高いアクティビティを発揮するとともに、国内研究者の裾野を広げることを目指しました。この目標はまさに、MPS が目指すところであるといえます。

今回のシンポジウムでは 2 件の招待講演が企画され、「人の意識の役割は司令塔か？エピソード記憶のためか？」、「農林業地域における地域システム設計と知能研究の役割」において講演が行われ、1 件の企画セッションとしてダウンロード人工知能研究所企画において「全脳アーキテクチャのア

キレス臆」というパネル討論を行いました。一般セッションは、すべて複数の査読者により査読され採録された研究のみが発表され、非常に質の高い興味深い講演が行われ、多数の参加者を交えて活発な論議が繰り広げられました。

こうして開催されたシンポジウムで発表された研究に対して論文の投稿をお願いしました。本特集号には、4 件の投稿申込みがあり、査読を経て 2 件の論文が採択に至りました。

ここに本シンポジウムの開催にあたりお世話になりました日本ソフトウェア科学会 ネットワークが創発する知能研究会の運営委員の皆様にご感謝いたします。特に、特集号の査読をお願いした方々、ご投稿いただいた著者のみなさまにここに記して心より感謝の意を表します。

¹ ゲストエディタ
電気通信大学大学院情報理工学研究科/人工知能先端研究センター
The University of Electro-Communications, Graduate School of Informatics and Engineering / Artificial Intelligence eXploration Research Center, Chofu, Tokyo 182-8585, Japan

² ゲストエディタ
早稲田大学基幹理工学部情報理工学科
Waseda University, Department of Computer Science and Engineering, Shinjuku, Tokyo 169-8555, Japan

a) skurihara@uec.ac.jp

b) sugawara@waseda.jp